

【第1号議案・令和5年度事業報告書】

令和5年度
第72期事業報告書
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

一般社団法人 中部地区医師会

一般社団法人 中部地区医師会 令和5年度事業報告書

昭和28年(1953年)7月13日の中部地区医師会設立以来、昭和63年に中部地区医師会館・検診センターを開設し、平成7年訪問看護ステーション、平成16年訪問介護事業、平成20年ぐしかわ看護専門学校、更に本会の関連会社として平成24年中部システムサポート、平成27年中部スタッフサポート、令和2年に看護小規模多機能居宅介護ナーシングケアハウスやえしまを設立し、本会は、着実に事業を発展させてまいりました。組織の拡大とともに本会の社会的責任もますます大きくなることを自覚し、今後も会員と共に学術団体としての医師会活動はもとより、県や市町村、関係団体と密接な連携をとり、地域に密着した活動を通じて、地域住民の皆様の健康を守り、安全・安心な医療・保健・介護・福祉を支える役割を担って参りたいと考えております。

《医師会会務運営》

一般社団法人の基準に沿った事業計画書及び予算書を作成し「継続事業1.2.3」と「その他事業1.2.3.4」に分けてご報告いたします。また、会員との連携・情報交換、行政や関係団体と連携した体制をもって法令や社会ルール等を遵守し、地域医療・保健・介護・福祉への継続的な貢献を続けることを目的として、令和4年6月より中部地区医師会コンプライアンス体制を構築いたしました。これにより、医師会職員の教育・研修の充実を図り、高い倫理観を持って誠実、公正に行動し、社会から信頼される医師会として、発展し続けるよう努力いたします。

【令和5年度・定期総会】

日時：令和5年6月28日(水) 19時30分～21時
場所：中部地区医師会館 3階ホール(WEB併用)
議案：第1号議案：令和4年度事業報告書について
第2号議案：令和4年度決算報告書について

【令和5年度・臨時総会】

日時：令和6年3月29日(金) 19時30分～21時
場所：中部地区医師会館 3階ホール
議題：第1号議案：医師会運営規定の一部改正について(案)
第2号議案：令和6年度事業計画書(案)
第3号議案：令和6年度収支予算書(案)

【理事会・関連委員会・その他】

中部地区医師会定例理事会(毎月2回/第2・第4金曜日/19:00/2階会議室)
医師会職員管理者会議(毎月2回/第2・第4月曜日/16:00/2階会議室)
4/8 第54回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会施設長会/17:00/福岡県JR博多シティ(松嶋顕介)
6/14 監事監査/19:30/3階ホール(祝嶺千明・小橋川啓・涌波満・松嶋顕介)
6/19 評議員会/19:30/3階レストラン(三役・評議員)
7/15 第54回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会/長崎県出島メッセ長崎(中田安彦・今井千春・末永正機)

- 11/9 中部地区医師会勤続10年医療従事者表彰式典/18:30/NBC(三役)
- 11/18 第62回地区医師会連絡協議会/17:15/万国津梁館(中田安彦・今井千春・末永正機)
- 12/14 中部地区医師会年末懇親会/19:00/ラグナガーデンホテル(三役・理事)
- 12/21 第1回コンプライアンス委員会/19:00/3階ホール(今井千春)
- 3/25 評議員会/19:30/3階レストラン(三役・評議員)
- 3/11 地区医師会長会議/19:00/沖縄県医師会(今井千春)

1. 公衆衛生の向上を目的とする事業(継続事業1)

本事業は、児童生徒、地域住民に安全・安心な医療を提供することで地域住民の医療福祉の向上と公衆衛生の向上に寄与することを目的に実施しました。

1) 学校保健対策事業(担当理事:石川 理事)(副担当:古堅 理事)

例年通り、管内9市町村教育委員会及び沖縄県教育委員会から依頼を受け、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校並びに一部私立学校の合計116校へ学校医(113名)・健診協力医(58名)の配置を行いました。また、令和5年度新規学校医・健診協力医になられた先生方へ勉強会を実施いたしました。

【各種委員会・協議会へ推薦】

○令和5年度宜野湾市要保護児童対策地域協議会員/じのーんキッズ安心ネットへ推薦
古堅善亮理事を推薦【任期R5.4.1~R6.3.31】

【関連委員会・その他】

5/25 じのーんキッズ安心ネット代表者会議/14:00/宜野湾市役所
R6/3/14 第48回沖縄県学校保健、学校医大会/沖縄県医師会3階ホール

【研修会】

4/20 新規配置学校医・健診協力医、学校健診勉強会/19:30/中部地区医師会
講師:今西 康次 先生(じねんこどもクリニック)

2) 予防接種事業の普及促進、感染症対策事業(担当理事:石川 理事)(副担当:渡慶次 理事)

- ① 管内8市町村において行政措置予防接種として実施されているおたふくかぜワクチン予防接種は、未実施であった西原町が令和5年度より行政措置予防接種として開始され、計9市町村での実施となりました。
- ② 平成27年度より個別予防接種(小児・高齢者)は、県内の医療機関のどこでも予防接種が受けられるように北部地区医師会、浦添市医師会、南部地区医師会、那覇市医師会との間で相互乗り入れが実現しておりますが、令和5年度も同体制を引き続き維持できるよう関係団体と調整を行いました。
- ③ 小児インフルエンザ予防接種(幼児~中学生)につきましては、高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担軽減(沖縄市・北中城村は負担なし)とともに、公費負担化を要請しましたが実現できておりません。引き続き市町村への要望を行ってまいります。
- ④ 高齢者肺炎球菌予防接種は、北谷町、嘉手納町、沖縄市で無料化となっております。令和5年度も未実施の自治体に対しては、要望をおこないましたが、公費負担での実施は難しい状況となりました。引き続き公費負担の実現に向け、要望を行ってまいります。
- ⑤ 平成31年4月に厚生労働省より風しん予防接種を公的に受ける機会がなかった39~56歳(1962年【昭和37年】4月2日~1979年【昭和54年】4月1日生まれの男性約1610万人)の男性のうち、抗体価が低い(8倍以下)と判明した人に限り、予防接種法に基づく定期接種の対象とし、令和6年度まで公費により無料で予防接種を行う事ができることから、令和

5年度におきましても市町村、会員施設と連携のもと、取り組みました。

- ⑥ 带状疱疹予防接種について、沖縄県内の市町村では公費助成をおこなっている自治体が未だなく、現状、接種希望者は全額自己負担での接種となっております。接種機会の拡充により、带状疱疹や神経痛に悩まされる患者が減少することで高齢者医療費の削減にも繋がると期待されることから、管内市町村において市町村長・議会議長宛てに公費助成の実現に向けて要望書の提出をおこない、各種委員会で取り上げていただきましたが、令和5年度での公費助成は実現できませんでした。引き続き公費負担の実現に向け、管内市町村へ要望を行ってまいります。

【各種委員会への委員推薦】

- 中城村予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R4. 4. 1～R6. 3. 31】

医師会代表：中田 安彦 会長／石川 隆夫 理事

中城村内医療機関代表：湧田 森明 先生（わくさん内科）

羽地 周作 先生（海風クリニック）

- 沖縄市予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R5. 4. 1～R7. 3. 31】

医師会代表：中田 安彦 会長／石川 隆夫 理事

沖縄市内医療機関代表：今西 康次 先生（じねんこどもクリニック）

安里 義秀 先生（あさとこどもクリニック）

- 読谷村予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R5. 4. 1～R7. 3. 31】

医師会代表：中田 安彦 会長／石川 隆夫 理事

- 宜野湾市予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R5. 7. 1～R7. 6. 30】

医師会代表：中田 安彦 会長／石川 隆夫 理事

宜野湾市内医療機関代表：宮城 伸健 先生（みやぎ小児科クリニック）

岡 勇次郎 先生（岡こどもクリニック）

- 北中城村予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R5. 7. 1～R7. 6. 30】

医師会代表：中田 安彦 会長／石川 隆夫 理事

北中城村内医療機関代表：山入端 浩之 先生（ファミリークリニックきたなかぐすく）

長田 博臣 先生（中部徳洲会病院）

- 読谷村予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R5. 4. 1～R7. 3. 31】

医師会代表：中田 安彦 会長／石川 隆夫 理事

- うるま市予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R5. 12. 1～R8. 11. 30】

医師会代表：中田 安彦 会長／石川 隆夫 理事

【関連会議・委員会・その他等】

6/21 北中城村第1回予防接種健康被害調査委員会 18:00/北中城村役場

9/13 北谷町予防接種健康被害調査委員会 19:00/北谷町役場

R6. 1/29 うるま市第1回予防接種健康被害調査委員会 19:00/うるま市役所

R6. 3/1～3/7 子ども予防接種週間

R6. 3/14 北中城村第2回予防接種健康被害調査委員会 19:00/ZOOM開催

3) 産業保健対策事業（担当理事：兼城賢作 常任理事）（副担当：道下 理事）

独立行政法人労働者健康福祉機構 沖縄産業保健総合支援センターより委託を受け「中部地域産業保健センター」を設置し、中部地域の従業員 50 名未満の事業場（事業主）へ、意見書の作成、保健指導、面接指導、情報提供等を行いました。また、ストレスチェック制度を円滑に推進するため関係団体と連携し産業医の先生方に各種情報を提供しました。

【関連委員会・その他】

12/15 第1回産業医研修連絡協議会/19:00/沖縄県医師会 会議室 4

R6/2/22 中部地域産業保健センター運営協議会/18:00/中部地区医師会（中田 安彦 会長）

4) 学術活動事業（担当理事：古堅 理事）（副担当：兼城真理子 理事）

学術活動として令和5年度も医師の生涯学習の一環として、最新の医療技術各種講演会や研修会を共催・後援いたしました。

- ① 各種講演会の開催及び後援
- ② 日本医師会生涯教育制度の追加申告の取りまとめ

【各種講演会 ※共催又は後援及び日医生涯教育講座】

○日時：令和5年4月26日（水） 19:00～20:00

場所：中部地区医師会 3階ホール・WEB 配信

座長：中頭病院 腎臓内科部長 金城 一志 先生

演題：腎臓内科医からみた肥満・メタボ合併糖尿病の治療戦略

演者：琉球大学病院 血液浄化療法部 診療部長・教授 古波蔵 健太郎 先生

○日時：令和5年4月28日（金） 19:00～20:30

場所：中頭病院中頭ホール・WEB 配信

座長：しゅくみね内科クリニック 院長 祝嶺 千明 先生

演題1：当院での潰瘍性大腸炎の治療について

演者：中頭病院 消化器内科 吉村 美優 先生

座長：中頭病院 消化器内科 部長 座覇 修 先生

演題2：潰瘍性大腸炎における最新の Topics

演者：佐賀大学医学部内科学講座 消化器内科学 教授 江崎 幹宏 先生

○日時：令和5年5月17日（水） 19:00～20:00

場所：中部地区医師会 3階ホール・WEB 配信

座長：愛聖クリニック 院長 中田 安彦 先生

演題：プライマリドクターの遭遇する COPD 患者の対処

演者：まつしまクリニック 院長 松嶋 顕介 先生

○日時：令和5年5月22日（月） 19:00～19:45

場所：WEB 配信

座長：愛聖クリニック 院長 中田 安彦 先生

演題：心-腎-代謝関連から迫る心不全治療戦略 ～SGLT2i の早期導入の意義～

演者：慶応義塾大学医学部 循環器内科 准教授 佐野 元昭 先生

○日時：令和5年5月31日（水） 19：00～20：20

場所：WEB 配信

座長：沖縄協同病院 心療内科 小松 知己 先生

演題1：アルコール関連問題へのアプローチ

演者：沖縄リハビリテーションセンター病院 精神科 手塚 幸雄 先生

演題2：生活習慣に着目した不眠症診療

演者：琉球大学大学院 医学研究科精神病態医学講座 准教授 高江洲 義和 先生

○日時：令和5年7月26日（月） 19：00～20：05

場所：WEB 配信

座長：中部徳洲会病院 循環器内科 統括部長 兼 不整脈センター長 大城 力 先生

演題：心不全の分類と病態

演者：中部徳洲会病院 循環器内科 医長 野村 悠 先生

○日時：令和5年8月23日（水） 19：00～20：10

場所：WEB 配信

座長：いしはらクリニック 院長 石原 興平 先生

演題1：いいとこ取りの頭痛診療

演者：読谷紅いもクリニック 院長 矢野 昭正 先生

座長：大浜第一病院 脳神経内科部長 城本 高志 先生

演題2：脳血管内治療医による頭痛診療 ～頭痛外来開設と治療の実際～

演者：信州大学医学部脳神経外科学教室 准教授 兼 脳血管内治療センター副センター長 花岡 吉亀 先生

○日時：令和5年8月31日（木） 19：00～20：00

場所：WEB 配信

座長：沖縄リハビリテーションセンター病院 副院長 富盛 宏 先生

演題：不眠症治療の新展開 ～睡眠薬出口戦略のその先を目指して～

演者：琉球大学大学院 医学研究科精神病態医学講座 准教授 高江洲 義和 先生

○日時：令和5年9月5日（火） 19：00～20：35

場所：WEB 配信

演題1：専門医の考える糖尿病診療と治療

演者：中頭病院 内分泌・代謝内科 医長 湧田 健一郎 先生

座長：中頭病院 腎臓内科 部長 金城 一志 先生

演題2：SGLT2 阻害薬の大規模臨床試験から考える ～腎への可能性を含めて～

演者：兵庫医科大学 総合内科 准教授 長澤 康行 先生

座長：中頭病院 循環器内科電気生理部長 屋宜 宣守 先生

演題：「心不全予防のためのベストシナリオを考える」 一病診連携の重要性一

演者：三重大学分子生理学講座 教授 坂東 泰子 先生

○日時：令和5年9月13日（水） 18：50～20：20

場所：ダブルツリーby ヒルトン 那覇首里城

Opening Remarks：すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司 先生

座長：愛聖クリニック 院長 中田 安彦 先生

演題1：糖尿病合併高血圧の治療戦略

演者：田仲医院 院長 田仲 秀明 先生

座長：首里城下町クリニック第一 院長 田名 毅 先生

演題2：ナトリウム利尿ペプチドを意識した降圧治療

演者：平光ハートクリニック 院長 平光 伸也 先生

Closing Remarks：琉球大学大学院 医学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座
教授 楠瀬 賢也 先生

○日時：令和5年9月21日（木） 19：00～20：30

場所：EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート

座長：翔南病院 循環器内科 部長 与那原 太郎 先生

演題1：高齢者心房細動に対する抗凝固療法

演者：沖縄県立中部病院 循環器内科 屋宜 宣仁 先生

座長：沖縄県立中部病院 循環器内科 部長 和氣 稔 先生

演題2：厳格降圧時代におけるMRBへの期待～沖縄だからこそ

演者：琉球大学病院 血液浄化療法部 診療教授・部長 古波蔵 健太郎 先生

○日時：令和5年11月14日（火） 19：00～20：15

場所：WEB 配信

座長：アワセ第一医院 沖縄県小児科医会 会長 浜端 宏英 先生

演題1：沖縄県における子宮頸がんの現状と治療

演者：琉球大学病院 産婦人科 講師 久高 亘 先生

演題2：HPV ワクチン より早く（接種時期）、より高く（接種率）、より強く（接種推奨）、
そしてより広く（接種対象）

演者：長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 小児科学 教授 森内 浩幸 先生

○日時：令和5年11月15日（水） 18：50～20：00

場所：EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート

座長：愛聖クリニック 院長 中田 安彦 先生

演題1：当院の大腸がん診療と小腸疾患

演者：琉球大学病院 第一内科 助教 金城 徹 先生

座長：まつしまクリニック 院長 松嶋 顕介 先生

演題2：琉球大学病院における大腸癌診療の取り組みと大腸癌最新情報

演者：琉球大学病院 第一外科 准教授 金城 達也 先生

○日時：令和5年12月7日（木） 19：00～20：00

場所：WEB 配信

座長：中部徳洲会病院 副院長・泌尿器科部長 呉屋 真人 先生

演題：転移性腎癌の薬物治療戦略～患者特性、腫瘍特性を考えた1次治療の選択～

演者：東京女子医科大学附属足立医療センター 泌尿器科 教授 近藤 恒徳 先生

○日時：令和5年12月13日（水） 19：00～20：00

場所：EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート

座長：愛聖クリニック 院長 中田 安彦 先生

演題1：大動脈弁狭窄症の診断ポイントと TAVI 治療の進歩 ～術後の抗血栓治療も含めて～

演者：中部徳洲会病院 循環器内科 主任部長 比嘉 健一郎 先生

座長：沖縄協同病院 循環器内科 澤紙 秀太 先生

演題2：心臓弁膜症の低侵襲治療

演者：中部徳洲会病院 心臓血管外科 副院長 山城 聡 先生

○日時：令和5年12月18日（月） 19：00～20：15

場所：WEB 配信

座長：琉球大学大学院 医学研究科内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座（第二内科）

教授 益崎 裕章 先生

演題1：GLP-1 受容体作動薬のポジショニング～糖尿病内科の視点から～

演者：すながわ内科クリニック 内科部長 神谷 乗史 先生

演題2：心血管イベントの抑制を目指した糖尿病治療 ～セマグルチドの有用性も含めて～

演者：平光ハートクリニック 院長 平光 伸也 先生

○日時：令和6年1月19日（金） 19：00～20：30

場所：EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート

座長：沖縄県立中部病院 脳神経内科 副部長 金城 正高 先生

演題1：これからの脳梗塞予防を考える

演者：独立行政法人那覇市立病院 脳神経外科 医長 新屋 貴裕 先生

座長：沖縄県立中部病院 総合診療科 板金 正記 先生

演題2：脳卒中後リハビリテーション治療と疼痛管理 ～神経障害性疼痛を中心に～

演者：ちゅうざん病院 院長 田島 文博 先生

○日時：令和6年1月24日（金） 19：00～20：30

場所：WEB 配信

座長：愛聖クリニック 院長 中田 安彦 先生

演題1：心臓リハビリでつながる心不全連携

演者：中頭病院 循環器内科 医長 沖縄北あんしん内科クリニック 院長 山口 怜 先生

演題2：心不全領域における AI の現在と未来

演者：琉球大学大学院 医学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座 教授 楠瀬 賢也 先生

○日時：令和6年2月1日（木） 18：30～19：15

場所：WEB 配信

座長：かりゆしクリニック 院長 山川 研 先生

演題：合併症予防を見据えた糖尿病治療～心腎代謝関連の重要性～

演者：札幌医科大学 細胞生理学講座 講師 佐藤 達也 先生

○日時：令和6年2月3日（土） 10：00～19：00

場所：沖縄県医師会館3階大ホール

座長：ファミリークリニック北中城 院長 山入端 浩之 先生

演題1：新しい概念を学ぼう

演者：めぐみ在宅クリニック 院長 小澤 竹俊 先生

いきがい在宅クリニック 院長 長野 宏昭 先生

オランダ在住 山田 拓 先生
座長：うらそえ介護福祉会 会長 与那覇 涼 先生
株式会社いきがいくリエーション 代表取締役 田村 浩介 先生
演題2：認知症！難病！どんな私でもここで暮らしたいを支えたい
演者：中頭病院 医療相談室 秦 克之 先生
イズC&S 主任介護支援専門員 前田 耕平 先生
株式会社いきがいくリエーション 取締役 親泊 朝光 先生
クリニック安里訪問リハビリテーションセンター 末吉 珠代 先生
ヘルパーステーションラクダ 安保 奈緒 先生
くすりのミドリ 玉城 武範 先生
座長：きなクリニック 院長 喜納 美津男 先生
演題3：台湾の僻地で展開される在宅医療
演者：台湾在宅医療学会 会長 余 尚儒 先生
座長：ドクターゴン診療所 院長 泰川 恵吾 先生
演題4：小離島から見えてくる“地域丸ごと”の看取りの豊かさと創造性
演者：沖縄県立看護大学 佐久川 政吉 先生
座長：いきが在宅クリニック 院長 長野 宏昭 先生
演題5：学生・若者と夢を語ろう！
演者：株式会社いきがいくリエーション 金城 里咲子 先生
他、琉球大学医学部その他学生、研修医数名
座長：株式会社さんだん花 主任介護支援専門員 新垣 俊 先生

○日時：令和6年2月5日（月） 19：00～20：20

場所：ザ・ナハテラス

座長：具志堅循環器・内科 院長 具志堅 政道 先生

演題1：心不全 Stage から考える高血圧治療

演者 大浜第一病院 循環器内科 科長 瑞慶覧 貴子 先生

座長：具志堅循環器・内科 院長 具志堅 政道 先生

演題2：開業医の考えるエンレストの位置付け

演者：やまだクリニック 院長 山田 護 先生

座長：首里城下町クリニック第一 院長 田名 毅 先生

演題3：高血圧治療最新トピック クリニカルイナーシャ、どう対処しますか？

演者：公益財団法人心臓血管研究所 名誉所長 山下 武志 先生

Closing Remarks：すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司 先生

○日時：令和6年2月26日（月） 19：00～20：20

場所：ピーススクエア貸会議室（ハイブリット開催）

座長：まつしまクリニック 院長 松嶋 顕介 先生

演題1：骨粗鬆症治療の恩恵

演者：沖縄赤十字病院 第一整形外科 部長 大湾 一郎 先生

レクチャー：急性期病院における大腿骨付近部骨折の多職種連携治療

演者：中部徳洲会病院 整形外科 部長 高江洲 美香 先生

座長：田仲医院 院長 田仲 秀明 先生

演題2：骨粗鬆症性椎体骨折の実際と対策

演者：琉球大学大学院 医学研究科 整形外科講座 教授 西田 康太郎 先生

○日時：令和6年3月21日（木） 19：00～20：30

場所：レフ沖縄アリーナ by ベッセルホテル

座長：すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司 先生

演題1：MASLD?MetALD?脂肪性肝炎における新たな展開と病診連携

演者：沖縄県立中部病院 消化器内科 副部長 山田 航希 先生

演題2：MASLDで変わる脂肪肝とメタボ診療：高TG血圧の意義

演者：久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門 教授 川口 巧 先生

○日時：令和6年3月28日（木） 19：00～20：30

場所：宜野湾市保健相談センター2F（ハイブリット開催）

座長：西平医院 院長 西平 守樹 先生

事業説明：今こそ健診！予防につなぐ!!～宜野湾市CKD病診連携医登録事業について～

演者：宜野湾市 健康増進課 下地 こずえ

演題：顔がみえる病院連携 ～ともに臨むCKD～

演者：海邦病院 内科医長 金城 孝典 先生

5) 広報活動事業（担当理事：古堅 理事）（副担当：兼城真理子 理事）

県医師会の「広報委員会」「マスコミとの懇談会」に参加し、医療、保健、介護、福祉等、医師会活動を県民へ広報活動や啓発活動を行いました。また、日本医師会、県医師会、沖縄県、厚生労働省等からの情報や文書等を会員へ迅速に情報提供を行いました。

中部地区医師会75周年事業については、記念誌の発刊に向け、各種資料の収集に努めております。また、コロナ禍において、対面での会議・懇親会等が自粛される中、会員への情報発信・親睦を目的として、当会ホームページに「医師会ニュース」を開設し、“新規開業医紹介”、“各班紹介”、“随筆”、“関係通知閲覧”等について閲覧いただけるようになっております。

【関連委員会等】

沖縄県医師会広報委員会（毎月1回）

R5/4/6	第1回広報委員会/19：00/沖縄県医師会	古堅善亮
5/11	第2回広報委員会/19：00/沖縄県医師会	古堅善亮
6/1	第3回広報委員会/19：00/沖縄県医師会	古堅善亮
7/6	第4回広報委員会/19：00/沖縄県医師会	古堅善亮
8/3	第5回広報委員会/19：00/沖縄県医師会	古堅善亮
9/7	第6回広報委員会/19：00/沖縄県医師会	古堅善亮
10/5	第7回広報委員会/19：00/沖縄県医師会	古堅善亮
11/2	第8回広報委員会/19：00/沖縄県医師会	古堅善亮
12/7	第9回広報委員会/19：00/沖縄県医師会	古堅善亮
R6/1/4	第10回広報委員会/19：00/沖縄県医師会	古堅善亮
2/1	第11回広報委員会/19：00/沖縄県医師会	古堅善亮
3/7	第12回広報委員会/19：00/沖縄県医師会	古堅善亮

マスコミとの懇談会

8/14 マスコミとの懇談会/19：00/沖縄県医師会 兼城真理子

6) 救急医療対策事業（担当理事：西原 常任理事）（副担当：大城 理事）

おきなわマラソン大会や管内市町村が主体となって実施する各種イベントへの救護班（医師・看護師）の派遣は、コロナ感染症が5類へ移行したことから少しずつ開催されるようになり、会員施設のご協力を受け救護班の派遣を行いました。また、中部地区MC協議会において救急医

療対策について協議を行い、災害医療対策の推進も努めました。

【各種委員会への推薦】

○中部地区MC協議会

担当理事 西原実常任理事を推薦

第1回中部地区MC協議会/15:00/沖縄市消防本部

○令和5年度沖縄県災害医療コーディネーター（地域災害医療コーディネーター）

担当理事 西原実常任理事を推薦

【その他会議などへの参加】

OR6/1/6 令和5年度沖縄県災害医療コーディネート研修 9:00/県産業支援センター

【各種イベントへの医師・看護師派遣】

○「第29回2024おきなわマラソン大会」への医療部会委員の派遣と共に、医師・看護師及び理学療法士を派遣しました。

中田 安彦（中部地区医師会会長）（医療部長）

西原 実（中部地区医師会救急医療担当理事）（医療委員）

知花 敬（中部地区医師会事務局長）（医療委員）

2/18 ①与勝病院より、仲宗根進先生、大城邦幸、仲宗根健、兼城美和子／②ちゅうざん病院より、田島文博先生、浜里真吏、上原公輝／③中部協同病院より、伊波説美、田崎初美、神谷誠悟、玉城綾乃／④沖縄リハビリテーションセンター病院より、比嘉丈矢先生、大城史子先生、平勝也、森本忍、仲宗根楓、久保田和貴／⑤北谷病院より、島袋育江、崎浜民枝、桑江侑季／⑥桑江皮膚科医院より、桑江朝二郎先生／⑦翔南病院より、竹本直美、新崎綾子、大城正美／⑧ハートライフ病院より、渡慶次学先生、衛藤勇斗先生、屋比久若菜、亀谷直美、島袋すが子、島田春奈／⑨伊佐整形外科より、伊佐眞先生／⑩中部徳洲会病院より、村上優太先生、手登根勇人先生、村吉千賀子、饒平名駿、安里徳明、佐藤ひびき、我如古真央、平良隆介、崎濱恋、後蔵根拓、大村朝泰／⑪中頭病院より、笹野幹雄先生、山本勇矢先生、與古田飛輝、岩瀬海帆、栗国和枝、前上門江美子／⑫石川医院より、石川隆夫先生

○「第22回あやはし海中ロードレース大会」への医師・看護師を派遣しました。

R6/3/3 第22回あやはし海中ロードレース大会

「派遣医師（6名）」

湧田 健一郎 先生（読谷村診療所）

桑江 朝二郎 先生（桑江皮膚科医院）

田中 新司 先生（海邦病院）

仲村 義一 先生（ハートライフ病院）

垣花 実 先生（ハートライフ病院）

村上 優太 先生（中部徳洲会病院）

「派遣看護師（11名）」

田中 亜樹（桑江皮膚科医院） 玉城 勝江（早川眼科医院） 濱端 春美（中山内科医院）

名嘉真 久美（かんだ在宅クリニック） 兼城 美和子（与勝病院） 仲松 亜喜子（与勝病院）

新里 勲（中頭病院） 前上門 江美子（中頭病院） 栗国 和枝（中頭病院）

安部 至（中頭病院） 倉井 博紀（中頭病院）

以上の2つのイベントに合計66名の皆さまにご協力いただきました。

7) 地域医療対策事業（担当理事：今井 副会長）（副担当：末永 副会長）

例年通り地域支援病院の運営委員会へ役員を委員として派遣し、コロナ対応や救急医療等の課題を解決するための連携強化に努め、県立中部病院、中頭病院、ハートライフ病院、中部徳洲会病院の地域医療支援病院運営委員会へ参加しており、令和5年度においては、県立中部病院将来構想委員会へも参加し、中部病院の今後の在り方、南病棟を含む病院の立て替えについて意見を述べております。

また、沖縄県は平成29年3月に地域医療構想を策定し、今後、中部圏域では回復期病床の不足が見込まれることから、令和3年9月に回復期病床（地域包括ケア病棟）の増床が決まり病床の公募が行われました。その結果、令和4年5月に北中城若松病院（26床）、中部協同病院（28床）、令和5年4月宜野湾記念病院（21床）、令和5年12月社会医療法人敬愛会なかがみ西病院（94床）合計169床の増床となります。

さらに、日本医師会の組織強化の施策として、若手医師の入会促進及び医師会員としての定着を図るべく、令和5年度より医学部卒業5年目までの会費減免期間延長が実施されることを受け、中部地区医師会においても医学部卒業5年目までの会費減免期間を延長し、医師会入会率の向上に努めております。

【関連委員会への参加】

- 4/19 第1回沖縄県医師会外国人医療対策委員会/19:00/沖縄県医師会：WEB 併用
- 5/25 第1回中部徳洲会病院地域医療支援病院運営委員会/16:00/中部徳洲会病院
- 6/15 第1回県立中部病院地域医療支援病院運営委員会/18:00/県立中部病院
- 6/29 第1回ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会/16:00/ハートライフ病院
- 7/5 第1回医療機能分化検討会議（第1回沖縄県医師会地域医療委員会）
/19:00/沖縄県医師会
- 7/19 第1回中頭病院地域医療支援病院運営委員会/15:00/中頭病院
- 8/23 第1回中部地区医療提供体制協議会/17:30/WEB 開催
- 8/24 第2回中部徳洲会病院地域医療支援病院運営委員会/16:00/中部徳洲会病院
- 9/11 第1回医療機能分化研修会/19:00/沖縄県医師会
- 9/12 第2回県立中部病院将来構想検討部会/14:00/沖縄県庁
- 9/27 第2回ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会/16:00/ハートライフ病院
- 9/28 第1回おきなわ脳卒中地域連携委員会総会/19:00/沖縄県医師会
- 10/5 第2回沖縄県医師会組織強化検討委員会/19:00/沖縄県医師会
- 10/12 第2回沖縄県医師会外国人医療対策委員会/18:30/沖縄県医師会
- 10/18 第2回中頭病院地域医療支援病院運営委員会/15:00/中頭病院
- 10/19 第2回県立中部病院地域医療支援病院運営委員会/18:00/県立中部病院
- 10/20 第3回県立中部病院将来構想検討部会/14:00/沖縄県庁
- 10/25 琉球大学新任教授記念講演会・懇親会/19:00/沖縄県医師会
- 11/10 第2回県立中部病院将来構想検討委員会/10:00/沖縄県庁
- 11/17 沖縄県医師会警察医部会総会/19:00/沖縄県医師会 WEB 併用
- 11/30 第3回中部徳洲会病院地域医療支援病院運営委員会/16:00/中部徳洲会病院
- 12/7 第1回ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会/14:00/ハートライフ病院
- 12/9 入院医療機関役割分担シュミレーション研修/14:00/沖縄県医師会
- 12/21 第3回中部病院地域医療支援病院運営委員会/書面会議

- 1/24 第2回中部地区医療提供体制協議会/18:30/中部合同庁舎・WEB 併用
- 1/25 中頭病院新春医療連携懇親会/19:00/モーリアクラシック沖縄迎賓館
- 2/15 第4回県立中部病院病院地域医療支援病院運営委員会/18:00/県立中部病院
- 2/22 第4回中部徳洲会病院地域医療支援病院運営委員会/16:00/中部徳洲会病院
- 3/1 第3回沖縄県医師会外国人医療対策委員会/19:00/沖縄県医師会
- 3/21 第2回おきなわ脳卒中地域連携委員会総会/19:00/沖縄県医師会 WEB 併用
- 3/27 第3回中頭病院地域医療支援病院運営委員会/15:00/WEB 参加
- 3/28 第2回ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会/16:00/ハートライフ病院

【各種協議会・委員会への推薦】

- 中頭病院（地域医療支援病院）運営委員
末永正機 副会長を推薦
- 中部病院（地域医療支援病院）運営委員
今井千春 副会長を推薦
- ハートライフ病院（地域医療支援病院）運営委員
今井千春 副会長を推薦
- 中部徳洲会病院（地域医療支援病院）運営委員
今井千春 副会長を推薦

【その他】

ゴールデンウィークにおける診療時間調べを実施
 年末年始における診療時間調べを実施

- 8) 地域保健対策事業（担当理事：東賢志 理事）（副担当：今井 副会長）
 沖縄県地域医療推進体制連携事業は、平成29年度から「中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会」として新たに活動し、講演会だけではなく勉強会や事例・症例検討会を開催し、幅広く多職種（薬剤師・介護関係者等）にも参加を呼びかけ、地域のかかりつけ医・専門医・行政との連携強化を図り、糖尿病対策の推進を行ってまいりました。令和5年度は以下の勉強会、推奨講演会を開催いたしました。また、令和6年1月25日に本会・宜野湾市・全国健康保険協会沖縄支部の三者で宜野湾市CKD（慢性腎臓病）・糖尿病性腎臓病対策連携協定を締結。宜野湾市CKD・糖尿病性腎臓病対策世話人会へ仲地参与、古堅理事を派遣し、CKD及び糖尿病性腎臓病における医療・行政・地域・保険者の連携を推進しています。

【委員会への推薦】

- うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会
石川隆夫 理事を推薦
- うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会
仲地健 参与を推薦
- ヘルシーおきなわシティ推進会議
東賢志 理事を推薦
- うるま市健康づくり推進協議会委員
東賢志 理事を推薦
- 中部地区健康おきなわ21推進会議
今井千春 副会長を推薦

【各種委員会等への参加】

○中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会の開催

- 7/13 第1回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
- 9/7 第2回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
- 11/14 第3回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
- 1/11 第4回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
- 3/7 第5回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB

○沖縄市食育推進会議への参加/東理事

- 7/10 第1回沖縄市食育推進会議/15:00/沖縄市役所 (WEB併用)
- 12/28 第2回沖縄市食育推進会議/14:00/沖縄市役所 (WEB併用)
- 3/13 第3回沖縄市食育推進会議/13:00/沖縄市役所 (WEB併用)

○うるま市・沖縄市 ちゅらま〜み (腎) プロジェクト/中田会長・仲地参与・石川理事

- 7/25 CKD・糖尿病性腎臓病病診連携医登録事業コメディカル向け講演会/19:00/WEB
- 8/9 うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携講演会/19:00/WEB
- 12/21 うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携登録医会議/19:15/WEB
- 3/4 CKD・糖尿病性腎臓病病診連携医登録事業第2回コメディカル向け講演会/19:00/WEB

○うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会/仲地参与

- 8/17 第1回うるま市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会/19:00/うるみん
- 3/17 第2回うるま市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会/19:00/うるみん

○うるま市CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会/石川理事

- 9/1 第1回うるま市CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会/19:00/うるみん
- 2/2 第2回うるま市CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会/19:00/うるみん

○ヘルシーおきなわシティ推進会議/東理事

- 7/10 第1回ヘルシーおきなわシティ21推進会議/13:30/沖縄市役所
- 12/28 第2回ヘルシーおきなわシティ21推進会議/13:00/沖縄市役所 (WEB併用)
- 3/12 第3回ヘルシーおきなわシティ21推進会議/13:00/沖縄市役所 (WEB併用)

○うるま市健康づくり推進協議会/東理事

- 2/19 第1回うるま市健康づくり推進協議会/14:00/うるみん

○宜野湾市CKD・糖尿病性腎臓病対策世話人会/仲地参与・古堅理事

- 9/21 宜野湾市CKD・糖尿病性腎臓病対策世話人会/19:00/宜野湾市保健相談センター
- 1/25 宜野湾市CKD (慢性腎臓病)・糖尿病性腎臓病対策連携協定調印式/16:00/宜野湾市保健相談センター
- 2/15 宜野湾市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会/19:00/宜野湾市保健相談センター

【講演会】

医療従事者、関係者への研修会の開催 (4回開催)

第1回勉強会 令和5年8月23日 (水) /WEB講演会 (87名参加)

演 題:「糖尿病アルゴリズムに基づく糖尿病診療」

演 者: (医) 貴和の会 すながわ内科クリニック 内科部長 神谷 乗史 先生

座 長: 中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

第2回勉強会 令和5年9月27日 (水) /WEB講演会 (51名参加)

演 題：「CDE（糖尿病療養指導士）のいる糖尿病診療 ～沖縄CDE会のあゆみとこれから～」
演 者：（社医）敬愛会 翔南病院 院長
 中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生
座 長：（社医）敬愛会 ちばなクリニック 副院長 糖尿病内科 屋良 朝博 先生

第3回勉強会 令和5年11月29日（水）/WEB講演会（54名参加）
演 題：「健康長寿沖縄を取り戻そう ～3年間の沖縄における糖尿病診療経験を通して～」
演 者：（社医）敬愛会 ちばなクリニック 糖尿病内科 小林 倫子 先生
座 長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

第4回勉強会 令和6年1月18日（木）/WEB講演会（61名参加）
演 題：「FRC（GLP1受容体作動薬/持効型インスリン混合製剤）、経口GLP1受容体作動薬ってどうなの？」
演 者：（一社）楽和会 読谷村診療所 湧田 健一郎 先生
座 長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

【推奨講演会】

医療従事者、関係者への講演会の開催（1回開催）

推奨講演会 令和6年2月1日（木）/ WEB講演会（157名参加）
演 題：「2024年の糖尿病診療はこう変わる！～治療目標未達成を招く理由と改善策を再考する～」
演 者：琉球大学大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座（第二内科）
 教授 益崎 裕章 先生
座 長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

9) 老人保健対策事業（担当理事：末永 副会長）（副担当：東 理事）

平成29年4月から管内の9市町村（沖縄市・うるま市・宜野湾市・西原町・北谷町・嘉手納町・中城村・北中城村・読谷村／途中より宜野座村・金武町・恩納村加入し計12市町村）からの委託を受け「在宅医療・介護連携推進事業」を行っています。令和5年度において、12市町村を6ブロックに分けて事業を展開しております。地域包括ケアシステムの要の1つとして、医療と介護の両方を必要とした高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供するために、市町村が実施主体となって医師会等と連携を密にしながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進することを目的としています。事業項目として、下記の1～4項目を行いました。

【在宅医療・介護連携推進事業】

1

「地域の医療・介護資源の把握」

地域の医療・介護関係者の連携に必要な情報と提供することにより、照会先や協力依頼先を適切に選択、連絡できるようにすることを目的としています。

中部地区の医療施設、介護施設の住所や機能を調査し、情報の更新や検索がしやすい様にインターネット上で構築。南部地区医師会、那覇市医師会、北部地区医師会と共同運用により

『医療・介護おたすけマップ』を管理しています。

「地域課題の抽出と対応策の検討」

地域の在宅医療・介護関係者等が参画する会議をブロック別に『在宅医療・介護連携推進会議』を定期開催し、在宅医療・介護連携における現状の把握と課題の抽出、対応策の検討を行いました。

- ・うるま市在宅医療・介護連携推進会議
第1回(5/25) 第2回(9/14) 第3回(11/30) 第4回(2/29)
- ・沖縄市在宅医療・介護連携推進会議
第1回(5/22) 第2回(9/4) 第3回(11/20) 第4回(2/19)
- ・宜野湾市在宅医療・介護連携推進会議
第1回(6/15) 第2回(9/21) 第3回(12/21) 第4回(3/21)
- ・金武町・宜野座村・恩納村在宅医療・介護連携推進会議
第1回(5/17) 第2回(8/16) 第3回(11/15) 第4回(2/21)
- ・北谷町・嘉手納町・読谷村在宅医療・介護連携推進会議
第1回(5/18) 第2回(8/17) 第3回(11/16) 第4回(2/15)
- ・西原町・中城村・北中城村在宅医療・介護連携推進会議
第1回(5/29) 第2回(9/6) 第3回(11/27) 第4回(2/26)

「切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進」

医師会を中心に医療職、介護職と実現可能な切れ目のない体制のあり方を検討し、様々な会議体や連絡会を実施しています。

<連携強化型在宅療養支援診療所連絡会>

第1回(4/10)、第2回(5/8)、第3回(6/12)、第4回(7/10)、第5回(8/14)、第6回(9/11)、第7回(10/16)、第8回(11/13)、第9回(12/11)、第10回(1/15)、第11回(2/5)、第12回(3/13)

<中部地区合同会議>

・第1回(9/20)

<中部地区訪問介護事業所連絡会> 登録：62事業所

第1回(6/20) 第2回(10/17) 第3回(2/20)

<在宅看取り部会> ※令和5年度より2年計画で設置。

中部地区における在宅(施設・自宅)看取り体制を構築することを目的とし、4つのワーキンググループに分け活動しています。

WG①(資源の体制整備)：第1回(7/19) 第2回(1/17)

WG②(知識の普及啓発)：第1回(9/12) 第2回(1/17)

WG③(身寄りのない高齢者問題の整理)：第1回(7/13) 第2回(1/17)

WG④(顔の見える関係づくり・繋がりの強化)：R6年度より開始予定。

「医療・介護関係者の情報共有の支援」

在宅医療・介護連携に関する情報共有支援を行いました。

○専用ホームページを運用し、医療介護関係者へ研修会やお知らせ等の情報共有や医療介護連携のためのシートや冊子等の提供を行いました。(ホームページアクセス数 24,637件)

- 在宅医療・介護連携メーリングリスト登録を呼びかけ、積極的に情報発信を行いました。
メーリングリスト登録者：852名（+17名）送信件数：46件 記事投稿回数：50回
- 在宅医療・救急医療連携体制構築に向けた取り組み
高齢者入所施設での療養生活時、急変時における各関係機関への基本的な心得「介護施設等における在宅・救急連携の基本的な心得」をホームページにてデータ上で情報提供。
- 平成30年度作成の入退院連携マナーブックをホームページにてデータ上で情報提供。

2

「在宅医療・介護連携に関する相談支援」

- 医療介護関係者、地域住民からの在宅医療・介護連携に関する相談支援を行いました(37件)
相談内容：地域資源の情報に関すること、新型コロナに関すること、在宅介護の活用について等。

3

「地域住民への普及啓発」

在宅医療・介護に関する地域住民の理解を深める為の普及啓発を行いました。

- 12市町村地域住民（住民、地域ボランティア、民生委員等）向けアニメーション動画、エンディングノートを活用したACP（アドバンス・ケア・プランニング人生会議）出前講座開催
出前講座開催数：13件 参加人数 245名

- ・5月10日西原町第2民生委員児童委員 24名
- ・5月16日西原町小波津団地自治会 地域住民 21名
- ・5月30日宜野湾市嘉数自治会ミニデイボランティア向け 27名
- ・6月21日金武町地域ケア会議 28名
- ・8月17日恩納村認知症カフェ（太田公民館） 18名
- ・8月24日恩納村認知症カフェ（南恩納公民館） 20名
- ・9月13日恩納村認知症カフェ（安富祖公民館） 16名
- ・9月27日うるま市勝連南風原地区 地域住民、民生委員、包括職員 17名
- ・10月20日金武町ナーシングホームともいき施設内研修 11名
- ・11月7日北谷町民生委員 29名
- ・11月21日沖縄市包括支援センター北部 16名
- ・12月14日うるま市喜仲区、地域住民、民生委員、包括職 13名
- ・1月15日中城村認知症カフェ-た-養成講座ピーナッツ 5名

- 各市町村住民向けに講師を招いての講演会を行いました。

- ・うるま市 10/1：うるま市民芸術劇場 65名 10/22：うるマルシェ 30名
『元気な今だからこそ考える～あなたらしい終活～』

講師：屋良 利枝 氏（老人看護専門看護師/興南施設管理株式会社）

東恩納 寛寿 氏（終活カウンセラー上級/沖縄県メモリアル整備協会）

- ・嘉手納町 2/21：かでな未来館 24名
- ・読谷村 3/6：読谷村文化センター 52名
- ・北谷町 3/8：ちゃたんニライセンター 63名

『生き方も 逝き方も自分で決める！～書いて伝える、私の想い～』

講師：齋藤 学 氏（沖縄県メモリアル整備協会 終活カウンセラー上級、終活ノート書き方講師）

- 短編漫画、アニメーション動画を活用した地域住民向けACP普及啓発活動

- ・在宅ゆい丸センターホームページに短編漫画データ、アニメーション動画を掲載

- ・在宅ゆい丸センター・アニメーション動画 YouTube 8.5万回視聴（令和6年3月末時点）
- 市町村担当者と調整し、市町村広報誌（11月号）等に ACP 記事掲載
- FM コザ「沖縄県認知症行方不明者家族の会」カカララジオ出演し事業周知（6/8・11/9・12/14）
- 在宅ゆい丸センターリーフレット活用し事業周知活動
- 地域住民・医療・介護機関事業所等へ当センター事業活動について周知の為、リーフレット作成、配布、周知強化
- もしバカード貸出：人生の最期にどうありたいか。もしもの為の話し合い。きっかけをつくるカード。 貸出先：地域包括支援センター、介護事業所 等 （6か所）

4

「医療・介護関係者の研修」

医療介護関係者の質の向上や顔の見える在宅医療・介護連携体制の構築のため、多職種研修会をしました。

○カテゴリー別（4つの場面）研修会

- ・入退院支援多職種研修会（令和5年7月26日 沖縄市民会館） 参加数：94名
『調整力～切れ目のない医療・介護連携に向けて～』
座長：仲間 直崇（北谷病院）
登壇：與儀 篤（中部徳洲会病院）、大嶺 洋（北中城若松病院）、前田 耕平（イーズC&S）、喜屋武 善高（住宅型有料老人ホーム アイリーぐしかわ）
- ・療養生活支援多職種研修会（令和5年9月28日 会場 NBC 結婚式場＋オンライン）
参加数：116名 『在宅療養生活における服薬管理～各職種の関わり方と多職種連携～』
座長：東 賢志（おかえり在宅クリニック）
登壇：石田 浩（すこやか薬局野嵩店）、仲田 栄寿（訪問看護ステーションかいほう）、古堅 綾乃（介護支援センターさんだん花）
- ・看取り支援多職種研修会（令和5年12月13日 会場 エリスリーナ西原＋オンライン）
参加数：109名
『看取り支援における情報共有とコミュニケーション～本人・家族の意向に沿った支援を多職種で行うには』
座長：森田 悦雄（玄米クリニック）
登壇：久場 良吾（ろかい在宅クリニック）、桑鶴 松枝（特別養護老人ホーム知花の里）、玉城 竜一（比謝川の里）、新垣 玲（ケアプランセンター西原敬愛園）
- ・急変時対応多職種研修会（令和6年3月14日 会場 NBC 結婚式場＋オンライン）参加数：152名
『事例を通して考える 段階に応じた a c p と多職種連携～その人が、その人らしく、いられるために～』
座長：山入端 浩之（ファミリークリニックきたなかぐすく）
登壇：田木 聡一（ファミリークリニックきたなかぐすく）、仲村 尚司（中頭病院）、高良 清和（うるま市石川消防署）、知念 はるひ（サービス付き高齢者住宅いきがいのまち美里）

○高齢者シリーズ研修 『身寄りのない人の意思決定支援』

基礎編（令和5年6月30日 会場：中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校講堂＋オンライン）157名

応用編（令和5年10月25日 会場：中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校講堂）76名

講師：寺田 明弘（ゆいま～る法律事務所）

○高齢者施設向け DVD 貸出研修 貸出数：計 60 件、視聴者 358 名

「在宅医療・介護連携に関する関係市町村との連携」

- 在宅医療連携事業に係る各地区医師会コーディネーター会議（毎月／3月に1度持ち回り会場開催）
- 沖縄県医師会主催 在宅医療連携事業に係る第1回地区医師会コーディネーター会議
 - 第1回：令和5年7月6日／沖縄県医師会館
 - 第2回：令和6年1月31日／沖縄県医師会館
- 中部地区における課題や長期的な計画を整理し、構成市町村がそれを共有する必要があることから市町村担当者との意見交換を実施しました。
 - 第1回（4/25）、第2回（6/22）、第3回（8/22）、第4回、市町村課長会議（10/24）
 - 第5回（12/19）第6回（2/13）

【令和5年度事業報告書】

- 今年度の事業活動を評価し事業報告書を作成し各専門職団体、中部地区12市町村、地域包括支援センター各ブロック在宅医療・介護連携推進委員へ報告し今後の活動へ繋げる
- ・専門職団体：8団体
 - 中部地区歯科医師会、中部地区薬剤師会、沖縄理学療法士協会、沖縄県看護協会、沖縄県介護福祉士会、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会、沖縄県介護支援専門員協会、沖縄県リハビリテーション専門職協会
 - ・中部地区12市町村、地域包括支援センター、各ブロック在宅医療・介護連携推進委員：全103カ所

【その他、外部会議や研修会等への参加】

- ・沖縄県医師会地域包括ケア推進委員会（4/13）
- ・コロナ5類移行研修会（4/24.27）
- ・コロナ第5類移行後の医療体制についての意見交換会（5/10）
- ・2024年介護報酬改定対応経営戦略セミナー（5/16、6/13）
- ・地域包括ケアマネジメント報告会（5/22）
- ・明日の沖縄の地域医療を考える会（5/26）
- ・中部保健所難病患者支援ネットワーク連絡会（5/30）
- ・UFJ地域包括ケアシステム総論セミナー（5/31）
- ・第5回日本在宅医療連合学会大会（6/23）
- ・柏市在宅医療介護連携事業 視察（6/26）
- ・第9期介護保険事業計画策定に向けた研修（8/7）
- ・医療計画と介護保険事業計画の整合性の確保等に関する圏域別説明会：中部圏域（8/25）
- ・難病患者支援ネットワーク研修会（9/5）
- ・第1回医療機能分化研修会（9/11）
- ・ホスピタリティマナー研修（9/19）
- ・都道府県・市町村担当者等研修会議～在宅医療・介護連携推進の更なる可能性を目指して～（10/19）
- ・沖縄県デザイン事業「入退院連携における基本的な心得～本人・家族へのお願い～」資料のみ（11/12）
- ・うるま市交流会（11/18）
- ・第4回医師会が進める在宅医療介護連携を考える会（11/19）
- ・琉球大学病院主催 難病医療従事者研修会（12/21）
- ・2024年度介護報酬改定セミナーテキスト（2月6日開催）

- ・ 沖縄県認知症疾患医療センターWeb 研修会 (1/12)
- ・ 北谷町福祉関係者新春の集い (1/19)
- ・ 厚生労働省「介護事業者のためのBCP作成セミナー」(1/24)
- ・ 沖縄県在宅医療推進フォーラム (2/3)
- ・ 「2024年度 介護・障害・医療 トリプル改定」の全容と対応策 (2/6)
- ・ 身寄りのない方の入院・入所問題：デザイン事業多職種研修会 (2/14)
- ・ うるま市BCP机上訓練 (2/16)
- ・ 読谷村交流会 (2/24)
- ・ 第1回日本在宅医療 कांग्रेस (3/9)
- ・ 第1回在宅医療シンポジウム (3/20)
- ・ うるま市認知症初期集中支援検討委員会 (3/22)

【各種協議会、委員会への推薦や会議の参加】

○ 沖縄市福祉のまちづくり推進懇話会委員の推薦

富盛 宏 先生（沖縄リハビリテーションセンター病院）を推薦。

○ 沖縄地域包括支援センター運営協議会委員への推薦

末永 正機 先生（ちゅうざん病院）を推薦。

10) 介護保険対策事業（担当理事：末永 副会長）（副担当：兼城賢作 常任理事）

「医療なき介護はありえない」の理念から、介護認定審査会において、主導的役割を果たせるよう会員医師を推薦しました。また、沖縄県介護保険広域連合の事業計画策定委員会へ委員として参加しました。

【各種協議会・委員会】

○ 沖縄県介護保険広域連合介護保険事業計画策定委員会（末永正機副会長）

- 7/11 第1回沖縄県介護保険広域連合介護保険事業計画策定委員会/14:00/沖縄県介護広域連合
- 11/2 第2回沖縄県介護保険広域連合介護保険事業計画策定委員会/14:00/沖縄県介護広域連合
- 11/29 第3回沖縄県介護保険広域連合介護保険事業計画策定委員会/14:00/沖縄県介護広域連合
- 12/14 第4回沖縄県介護保険広域連合介護保険事業計画策定委員会/14:00/沖縄県介護広域連合
- 12/27 第5回沖縄県介護保険広域連合介護保険事業計画策定委員会/14:00/沖縄県介護広域連合

11) 班活動の強化（担当理事：今井 副会長）

各班活動のバックアップ体制の強化に努めているところですが、班活動活性化にむけ班会議が定期的開催されるよう取り組みました。

※令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したこともあり、各班、班会議を再開しております。

- ・ コザ北班（定例開催：毎月第3火曜日開催）
- ・ 宜野湾班（定例開催：偶数月第4月曜日、奇数月第4火曜日）
- ・ コザ南班（定例開催：毎月第2火曜日）
- ・ 嘉手納班（定例開催：奇数月第3木曜日）
- ・ 西原班（定例開催：奇数月第1火曜日）
- ・ うるま班（定例開催：奇数月第3水曜日）
- ・ 班長連絡会（偶数月の第2月曜日）※令和5年度は4回実施。
 - 4/10 第1回班長連絡会、 6/12 第2回班長連絡会
 - 10/16 第3回班長連絡会、 2/19 第4回班長連絡会

1 2) 医事紛争・医療安全対策事業（担当理事：兼城真理子 理事）（副担当：今井 副会長）

医事紛争処理体制や医療安全対策の強化に向けて、沖縄県医事紛争処理委員会、沖縄県医療安全対策委員会、沖縄県医師会会員倫理向上委員会に参加し、協議、検討を行いました。

【委員会への参加】

6/19 第1回沖縄県医師会医事紛争処理委員会/19：00/沖縄県医師会

12/21 第1回中部地区医師会コンプライアンス委員会/19：00/中部地区医師会

1 3) 医療保険対策事業（担当理事：兼城真理子 理事）（副担当：今井 副会長）

沖縄県医師会地区医師会医療保険担当理事連絡協議会に出席し、医療保険についての協議、検討を行いました。また、九州厚生局個別指導への立会に協力いたしました。

【各種協議会・委員会への推薦】

○宜野湾市国民健康保険運営協議会への委員（任期：R5年～3年間）

涌波淳子 先生（北中城若松病院）を推薦

○北谷町国民健康保険運営協議会への委員（任期：R5年～3年間）

菅谷公男 先生（北上中央病院）を推薦

○うるま市国民健康保険運営協議会への委員（任期：R4/6/1～R7/5/31）

西川高広 先生（伊波クリニック）を推薦

○嘉手納町国民健康保険運営協議会への委員（任期：R4/6月～R7/3月）

名嘉準一 先生（名嘉病院）を推薦

【協議会】

5/18 第1回地区医師会医療保険担当理事連絡協議会/19：00/沖縄県医師会

3/14 第2回地区医師会医療保険担当理事連絡協議会/19：00/沖縄県医師会

【九州厚生局個別指導立会】

7/6 那覇第一地方合同庁舎 今井千春

10/20 那覇第一地方合同庁舎 兼城真理子

12/14 那覇第一地方合同庁舎 古堅善亮

12/21 那覇第一地方合同庁舎 今井千春

R6/2/14 那覇第一地方合同庁舎 兼城真理子

2/15 那覇第一地方合同庁舎 古堅善亮

3/6 那覇第一地方合同庁舎 古堅善亮

3/19 那覇第一地方合同庁舎 兼城真理子

1 4) 精神保健対策事業（担当理事：兼城賢作 常任理事）（副担当：道下 理事）

沖縄県医師会、沖縄県立総合精神保健センター等と連携し自殺予防対策事業の一環として、かかりつけ医等心の健康対応向上研修企画委員会に担当理事を派遣し研修会を企画しました。

【各種協議会・委員会等への推薦】

かかりつけ医等心の健康対応向上研修企画委員会委員の推薦

兼城賢作常任理事を推薦

6/14 第1回かかりつけ医等心の健康対応力向上研修企画委員会/18：30/WEB会議

1/24 第2回かかりつけ医等心の健康対応力向上研修企画委員会/18：30/WEB会議

2、看護師養成を目的とする事業（継続事業2）

（担当理事：大城 理事）（副担当理事：末永 副会長）

本事業は、少子高齢化の進展、医療技術の目覚ましい進歩により更に多様化、複雑化した地域医療・保健・福祉・介護のニーズにも応えられるような柔軟に対応できる看護師の養成を行うことを目的として実施しました。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、様々な規制が緩和されたことで、学内授業及び臨地実習も順調に実施することができました。去る3月5日には第14期生78名が巣立ち、ぐしかわ看護専門学校の卒業生総数は1,107名となっており、着実に本会の使命である地域医療、介護、福祉の充実、強化に寄与しました。このことにつきましては、会員各位並びに会員施設からの絶大なる協力の賜物であり厚くお礼申し上げますと共に、更に講義及び臨地実習を予定通り行うことが出来たことに対しても深く感謝申し上げます。

(1) 受験生の確保

県内18歳人口の減少及び社会情勢の変化による社会人受験生の減少から受験生の確保が厳しさを増す中、令和5年度県内看護学校の受験者数は前年比228名減で他校では前年比20%の減少となりました。このような厳しい状況の中、ぐしかわ看護専門学校では令和5年度の受験生確保の対策として、①SNSを活用した情報発信（ホームページの充実、Instagram及びXの活用） ②高校進路ガイダンスへの積極的な参加 ③オープンキャンパスの実施（近隣の高校生140名が参加） ④学校祭の実施（高校生など460名来場） ⑤社会人対象受験対策セミナー実施（会員施設看護助手など12名が参加）など対策を実施しました。その結果ぐしかわ看護専門学校の受験者数209名前年比19名減となり、ほぼ前年度同様の受験者を確保することができました。

(2) 看護教員の確保及び就業環境の改善

令和5年度教員確保の対策として、「①教員業務の電算化を計り、業務負担の軽減を行う。②専任教員、実習指導教員の適正配置を行う。③教員給与及び教務手当（みなし残業代）等の適正化に向けた調査を行う。」以上3つの取組みを計画しましたが、①と③については計画を推進する事務担当者が、統括本部より度重なる急な人事異動と欠員により、計画を推進することができませんでした。②については学校長、教員の協力により必要数を確保し、適正な配置を行うことができました。

(3) 防音工事の調査、申請

ぐしかわ看護専門学校は建設から15年が経過しており、施設設備の老朽化による設備の故障などが頻発し、中でも空調設備の修理は高額となること、更に古い機器であることから消費電力が高く、学校の電気料金増の最大の要因となっており、空調設備の更新が必要となっていることから、沖縄防衛局の防音工事の補助金を活用し、空調設備の更新を計画し、令和5年度においては工事開始に向けて、沖縄防衛局防音対策課、周辺環境整備課及びうるま市都市建設部建築工事課、企画部危機管理課並びに設計会社と計22回の調整を経て、令和5年5

月 22 日に補助事業等計画書を提出し、9 月 6 日学校運営会議にて防音工事に関する補助金申請の進捗状況について報告を行いました。その後 10 月 23 日から 10 月 27 日の 5 日間沖縄防衛局による騒音測定が行われ 12 月 1 日に沖縄防衛局より令和 6 年度実施計画書の作成依頼を受け、12 月 21 日に実施計画書を提出しました。今後令和 6 年度中に申請が承認される予定で、令和 7 年度に設計、令和 8 年度に工事開始の予定となっております。

(2) 病学連携

当校の実習施設である会員施設と、学生の就職動向や少子化における今後医療機関や学校が取り組むべき課題について、情報交換を行いました。会員医療機関との相互の教育に係る交流・連携については、コロナ禍の影響により、十分な活動を行うことができませんでした。

(3) 学校評価

学校評価の実施、学校運営の改善と発展を目指し、教育の水準の向上と保障を図るため文部科学省の「学校評価ガイドライン」に基づき自己評価、学校関係者評価を実施し、評価結果の公表を行いました。学生による学校評価では、コロナ禍の影響から感染対策を継続する中での学校生活もあり、「学校行事に満足している」「学校行事のほか学年間の交流する機会がある」「地域の人々と交流やボランティアの機会がある」などの評価が低い結果となりました。

(4) 放送大学連携協力

令和 2 年度から開始した放送大学との連携協力によるダブルスクール制度の利用促進を図り、令和 5 年度は新たに 1 名が入学し、ダブルスクール入学生は 5 名となりました。

(6) 電子図書及び電子教科書

電子図書は 5 年度も順調に蔵書数を増やし、現在までに 176 タイトルの電子図書を導入し、多くの学生が利用しております。電子教科書の導入については令和 7 年度の導入を目指し、令和 5 年度には、電子教科書システムの取扱業者 2 社からの提案を受け内容、機能等の検討を行いました。

(7) 後援会

本年度も学校後援会から入学式、宣誓式、卒業式、学校祭等の各学校行事及び国家試験対策として業者模試などに後援会から費用の支援等をいただき学生生活の支援を行いました。

(8) 各種会議

学校運営が円滑に行われるよう学校運営会議、管理者会議、職員会議、教育会議等各種会議を予定通り実施いたしました。

(9) 地域貢献

地域に密着した学校として老人会と学生との交流や自治会等の開催するイベント、ボランティア活動への参加は、コロナ禍の影響によるイベント等の中止により十分な活動が出来ませんでした。

令和5年度卒業生就職進学状況

1. 令和5年度卒業生(14期生)就職・進学状況

令和5年度卒業生(14期生)の就職・進学状況は、下記に示す通りで、県内への就職は53名68%、県外への就職は19名24%で、進学2名3%、その他4名5%となっております。

2. 看護師国家試験合格者状況

国家試験については、学校の重点目標に掲げ、学生、教職員共に100%合格を目標に取り組みを行っておりますが、令和5年度(14期生)の合格率は国試の難易度が高かったこともあり、78名が挑み73名の合格で合格率は93.6%となっております。

令和5年度卒業生(14期生)就職・進学状況

区分	医療機関名	人数	
中部地区 医師会 会員	中部徳洲会病院	10	13%
	中頭病院	8	10%
	ちゅうざん病院	4	5%
	沖縄リハビリテーション病院	1	1%
	宜野湾記念病院	1	1%
	合計	24	31%

区分	医療機関名	人数	
県内会員外	沖縄協同病院	1	1%
	合計	1	1%

区分	医療機関名	人数	
県内公立病 院	琉球大学病院	9	12%
	沖縄病院	4	5%
	県立中部病院	4	5%
	県立宮古病院	3	4%
	那覇市立病院	3	4%
	県立南部医療センター	2	3%
	県立八重山病院	2	3%
	県立北部病院	1	1%
合計	28	36%	

区分	医療機関名	人数	
県外	四街道徳洲会病院	4	5%
	横浜旭中央総合病院	4	5%
	新百合ヶ丘総合病院	2	3%
	八潮中央総合病院	2	3%
	米盛病院	2	3%
	総合東京病院	1	1%
	小倉記念病院	1	1%
	川崎幸病院	1	1%
	湘南鎌倉総合病院	1	1%
	東京都立広尾病院	1	1%
	合計	19	24%

区分	大学名	人数	
進学	名桜大学 保健学科	1	1%
	熊本大学 養護教諭特別科	1	1%
	合計	2	3%

区分	その他	人数	
その他	その他	4	5%
	合計	4	5%

区分	人数	
中部地区医師会会員施設	24	31%
県内会員外	1	1%
県内公立病院	28	36%
県内合計	53	68%
県外	19	24%
進学	2	3%
その他	4	5%
総合計	78	100%

看護師国家試験合格状況

年度	期	受験者数	合格者数	合格率
22年度	1期生	75	74	98.7%
23年度	2期生	72	71	98.6%
24年度	3期生	76	74	97.4%
25年度	4期生	82	82	100.0%
26年度	5期生	73	72	98.6%
27年度	6期生	75	74	98.7%
28年度	7期生	90	88	97.8%
29年度	8期生	73	72	98.6%
30年度	9期生	78	75	96.2%
令和元年度	10期生	92	91	98.9%
令和2年度	11期生	82	82	100.0%
令和3年度	12期生	78	78	100.0%
令和4年度	13期生	83	80	96.4%
令和5年度	14期生	78	73	93.6%

3. 地域住民の健康増進に関する事業（継続事業3）

（担当理事：松嶋 副会長）（副担当：末永 副会長）

本事業は、地域住民に対し「高齢者の医療の確保に関する法律」により実施される特定健診、「健康増進法」に基づく各種がん検診を集団で実施。また「学校保健安全法」「母子保健法」に基づく各種健診を乳幼児・児童・生徒の疾病の予防、早期発見を行い地域住民の健康増進に寄与することを目的に実施しました。

1) 特定健診・各種がん検診（集団健康診断）の事業

沖縄市・うるま市・嘉手納町・北谷町・北中城村より委託を受け実施している特定健診及び各種がん検診（肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん・乳がん検診、前立腺がん検診、胃がんリスク検診）骨粗鬆症検査、肝炎ウイルス検査について、集団健診（婦人科集団健診含む）では、令和5年度、新型コロナウイルス感染症が5類となったことを受け、検診会場での感染対策を必要最小限として実施しました。予約制については、事前の受診予定数が把握できることにより、検診スタッフの適正配置が行えることから、令和5年度も継続いたしました。年間、住民健診（特定健診等がん検診）123回、婦人科集団検診69回実施、うるま市・嘉手納町・北谷町においてはナイト健診を5回実施しました。また、休日健診については、令和5年度も休日加算額を設定し、5市町村で計15回実施した結果、5,569,850円の収入となりました。

「尿中推定1日塩分量検査」についてはうるま市、北中城村にて対象年齢を限定してではありませんが、公費での実施をおこなっており、嘉手納町集団検診においては、オプション検査として「尿中推定1日塩分量検査」を実施しております。他の市町村でも実施できるよう継続して働きかけをおこなってまいります。

子宮頸がん検診では、がんの要因となるヒトパピローマウイルス（HPV）に感染しているかどうかを調べるHPV検査をオプション検査として、「細胞診」と「HPV」の併用検診の受診勧奨へ積極的に取り組みました。

※集団健診各種がん検診予算207,000千円に対して、収益は263,514千円、達成率127%

2) 学童健診（乳児・1歳半・児童生徒）事業

令和5年度におきましては、北谷町と沖縄県（県立4校：球陽中学高校・北谷高校・嘉手納高校・美里高校）より委託を受け、児童生徒の各種検査（尿・視力・聴力・心電図・XP）と一部市町村の認可・認可外保育施設園児の各種検査（尿・蟻虫・内科健診）を実施しました。また、乳児健診（小児保健協会より）及び1歳半健診（北谷町・嘉手納町より）を実施しました。

うるま市において、令和4年度に引き続き乳幼児健康診査（前期）受診率が著しく低下していることから、うるま市、沖縄市内の小児科専門医所属の医療機関のご協力を頂き、医療機関内にて実施する乳幼児個別健康診査（前期）の集合契約について取りまとめを行いました。（令和5年4月～令和6年3月まで）

4. 在宅医療推進に関する事業（その他事業1）

（担当理事：末永 副会長）（副担当：東 理事）

本事業は、中部地域の病院や療養施設から自宅へ戻る在宅医療・看護・介護・福祉が必要な利用者（高齢者・障がい者・障がい児及び人生の最終段階を自宅で迎えるターミナル患者等）に対し訪問看護・訪問リハビリ・介護サービスを提供し在宅で療養生活が安心して過ごせるよう実施しました。

① 訪問看護ステーション事業運営

沖縄市八重島事務所を拠点に、中部地区全域を対象に引き続き、看護師・理学療法士・言語聴覚士による多職種協働でサービスを提供し機能強化訪問看護ステーション加算Ⅱ（常勤看護師5名・ターミナルケア算定年間15回以上）を継続取得しました。利用者には更なる質の高いサービス向上（24時間体制の強化・ターミナルケア・超重症児・児の重症度の高い患者7名受入等）に務めました。

令和5年度も引き続きコロナ感染症対策を行い訪問サービスを継続し職員には定期PCR検査実施。安全に訪問サービスが提供できるよう各種委員会を中心に職員一丸となり対策へ取り組みました。

質の高い訪問サービスを継続するため定期的な課内研修や外部研修を計画的に行いました。中・長期的なキャリアアップ制度確立を進めています。また、病院・診療所・地域介護保険施設との連携やコロナ自宅療養者訪問等、地域・医療・福祉の連携を強化しました。更に、医療ニーズの高い方終末期ケア等、地域医療機関との連携、退院支援、在宅医療、地域の実情や課題解決、切れ目ない支援への取り組みを行い、さらには、各事業所の利用者獲得増のために原則1回/月、担当理事と各部署にて会議を行い、利用者獲得へ向けての対策、問題点などを確認しております。

② ヘルパーステーション事業運営

例年通り、障がい者総合支援法（精神・障害者・児）・介護保険に基づく利用者の確保や訪問件数の増加を図るために教育や定期的な研修を行って参りましたが、人員配置が行えず訪問件数が減少となっております。

職員の定着及び労働環境改善、スキルアップ研修等充実した職場環境づくり、コロナ禍でも訪問を継続できる体制作りが課題であります。

③ 居宅介護支援事業所事業運営

特定事業所加算Ⅱ（主任介護支援専門委員2名・介護支援専門員2名）を継続し訪問看護・訪問リハビリ・ヘルパーと連携。職員体制を整え沖縄県介護保険広域連合、地域包括支援センター・医療機関との連携を強化推進。職員個々の能力向上のため、Web研修へ参加すると共に、定期的な勉強会の開催に努めました。

3事業所の健全経営基盤を構築するため他の介護施設との連携を深めると共に、会員が利用しやすい24時間体制やターミナルケアに特化した訪問看護・介護への充実に努めました。

【利用者の開拓】

中部地区会員施設や国立療養所沖縄病院、琉球大学病院、県立中部病院、県立南部こども医療センター等と更なる連携強化を図り利用者の拡大を図りました。

【24時間体制の強化】

主治医の指導の下、利用者が安心して在宅療養が出来るように「24時間体制の強化」「主治医や利用者へのきめ細かい情報提供」を行い、地域医療の推進・安心と信頼を得られる事業所運営を

図りました。

【実習施設として受け入れ態勢の強化】

昨年に引き続き、ぐしかわ看護専門学校等の実習施設として実習生の受け入れを行いました。

5. 会員福祉向上に関する事業（その他事業2）

会員福祉事業（担当理事：道下 理事）（副担当：石川 理事）

本事業は、会員及び会員施設の福祉の向上経営安定化を目的に実施されるもので、会員及びその親族（一親等）が死亡した場合における告別式新聞広告、供花の低価格での案内も行うと共に、下記の事業を行いました。

中部地区医師会表彰の開催

平成29年度より中部地区医師会表彰規程を作り、令和5年度も引き続き長年に亘り学校医や健診協力医、ぐしかわ看護専門学校講師、各種委員会委員、本会役員等としてご尽力頂いた会員並びに会員施設に勤務する医師以外の職員で勤続10年に達した医療従事者に対し「中部地区医師会表彰」として表彰を行いました。医療従事者表彰については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、3年ぶりに表彰式典と懇親会を開催いたしました。表彰者には例年通り、賞状、記念品を贈呈しております。

1) 令和5年度、医療従事者表彰

日 時：令和5年11月9日（木）19：00～

場 所：NBC日本ブライダルセンター

受賞者：205名（30施設）

2) 中部地区医師会会員表彰式・祝賀会

日 時：令和5年3月25日（金）/臨時総会終了後開催

場 所：中部地区医師会館

受賞者：19名

「優功賞」

今井 千春（理事在任12年：理事H24～H28、副会長H29～現在）
西原 実（理事在任12年：理事H24～H28、常任理事H29～現在）
大城 直人（理事在任7年：理事H29～現在）
兼城 賢作（理事在任7年：理事H29～R4、常任理事R5～現在）
古堅 善亮（監事在任6年：理事H30～現在）
小橋川 啓（監事在任6年：監事H30～現在）
徳森 朝子（ぐしかわ看護専門学校長在任9年：校長H27～現在）

「功労賞」

岩下 秀彦（あげな中学校 校医10年：H26～現在）
大城 新一（山内小学校 校医10年：H26～現在）
池間 稔（中部農林高校 校医3年：H20～H22、宮森小学校 学校健診協力医12年：H24～現在）
慶田 喜信
（兼原小学校 校医1年：H19、中部農林高校 学校健診協力医7年：H20～H26、中部農林高校（定時）校医 8年：H27～R4）
茶谷 信行
（大山小学校 学校健診協力医6年：H20～H25、はごろも小学校 学校健診協力医10年：H26～現在）
上村 哲（学校医・集団予防接種担当医配置検討委員会在任10年：H24～R4）
石原 健二（ぐしかわ看護専門学校 講師6年）
浜比嘉 一直（ぐしかわ看護専門学校 講師6年）
吉村 美優（ぐしかわ看護専門学校 講師6年）

特別賞（3名）

幸喜 翔

（新型コロナ禍においてクラスターが発生した医療機関・施設へ応援に行っていた）

友利 隆一郎

（新型コロナ禍においてクラスターが発生した医療機関・施設へ応援に行っていた）

仲村 尚司

（新型コロナ禍においてクラスターが発生した医療機関・施設へ応援に行っていた）

3) 中部地区医師会会員（配偶者含む）、浦添市医師会会員、中部地区歯科医師会会員向けに、人間ドックを日曜日【7/23（14名）、11/12（18名）合計2回】）及び平日早朝（7:30開始）で行い、会員が受診しやすいよう努めました。

6. 受託健診に関する事業（その他事業3）

（担当理事：松嶋 副会長）（副担当：末永 副会長）

本事業は、会員施設からの臨床検査受託事業や管内市町村や健康保険組合等から委託を受け人間ドック、特定健診（特定保健指導及び入力代行含む）、各種検診の施設内健診事業、また、労働安全衛生法に基づき検診車を活用しての健康診断や特殊検診に関する企業健診事業及びストレスチェック事業等を地域住民の疾病の早期発見、健康の保持と増進を目的に行いました。

1) 臨床検査受託事業【臨床検査課】

令和5年度は、各医療機関において、コロナ抗原検査キットを使用した検査が主流となったため、PCR検査の受託数が減少傾向となったこともあり、年度予算は達成できませんでした。また、以下の事項について、予算達成に向け務めて参りました。

① 臨床検査技師の技術向上を目的に各種学会や講習会へ積極的に参加いたしました。

又、検査課内のマルチ化対応を目的に、業務のローテーションを行い人材育成に努めました。

『学会、講習会』

- 1, 日本臨床細胞診学会：6月、10月に参加し、細胞診検査の動向を確認した。その中で、HPV単独導入実施が検討され、2024年度の検査体制運用に役立てた。
- 2, 日本マスキング学会/県技師会学会研修会：全国の取り組み、琉球大学、沖縄県の方向性、により、2024年度が多胎児追加検査体制構築の準備に役立てた。
多胎児追加検査対象者数：171名（全体の1.2% ※2021年データより）

『検査課内マルチ化対応』

- 1, 超音波検査、眼底検査、肺活量検査において検体業務を兼任しながら、ドック、検診事業のフォローアップ対応を実現。
- 2, 受付業務から至急検体回収体制、1コースカバー体制を構築し、集荷対応が行えることを実現。
- 3, 補助員の業務拡大を行い、病理/細胞診、細菌業務が行えることを実現。

② 先天性新生児代謝異常検査事業

沖縄県地域保健課から受託した事業、タンデムマス法による「新生児先天性代謝異常等検査・（新生児マス・スクリーニング・20種）」は年間約13,200名の検査を行いました。

年間受託数：13,200名

売上貢献額：45,026,270円（対前年度比：▲4.3%）

利益貢献額：29,613,090円

※沖縄県の出生数減少に伴い、検査数は減となりました。（出生率対前年度比：▲6.6%）

③ 検診センター臨床検査室のPCR検査について

2020年8月3日よりPCR検査を受託開始し、2024年3月31日までの受託実績（累計）を示します。

受託数：105,086 件
陽性数：27,303 件
陽性率：30.3%
売上貢献額：981,853,875 円
利益貢献額：688,437,375 円

※2023年5月には5類に以降したため、集荷体制を縮小し検査体制を継続しております。

2)人間ドック、各種健康診断【健康増進課】

令和5年度の施設内健診では、引き続き標準的な感染対策を行い職員間の感染や受診者からの感染等のクラスターと思われる事例もなく、年間を通して計画通りに1日当たり、午前80名（ドック50名、健康診断30名）/午後35名（ドック15名、健康診断20名）の受入れ体制を維持し、以下の通りとなりました。

1. 施設内健診予算530,000千円に対して、実績は547,575千円、達成率103%
2. 人間ドック（13,529名）、健康診断等（11,287名）、合計約24,816名の受診者を受入れました。
3. 琉球大学病院産婦人科のご協力により、引き続き、月曜日の午前、火曜日の午後、婦人科検診を実施する事が出来ました。
4. 胃、大腸カメラ担当医師のご協力について
会員並びに琉球大学病院のご支援ご協力により、胃、大腸カメラを実施する事が出来ました。誠にありがとうございました。令和6年度も引き続きご支援ご協力の程、よろしくお願い致します。
5. 各市町村から特定健診及びがん検診（結核・肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診）の同日実施の受診勧奨を行い受診者増に繋げました。
6. オプション検査の充実について
当センターのドック受診者の7割は協会けんぽ（労働安全衛生法）となります。基本項目は会社負担での実施がほとんどですが、各会社、オプション検査等は自己負担での受診となります。受診者本人が個人負担金を出してでも受診したいと思わせるオプション検査項目を検討した結果、令和5年度は、腫瘍マーカー（CA125、CA19-9、CEA、AEP）、認知症スクリーニング検査（MCI）、腸内フローラ検査を実施しました。引き続きオプション検査項目の充実に努めます。

※認知症スクリーニング検査「MCI」（血液中の成分から、アルツハイマー病の原因とされる脳内の老廃物を排除する機能が正常であるかどうかを調べる検査）

※腸内フローラ検査（検便にて腸内細菌のバランスを調べ、腸内細菌の総合評価、菌の保有率、改善アドバイスを行う。）

7.胃内視鏡検査提供体制の強化について

胃部内視鏡検査を希望する受診者が増加している為、内視鏡室の3診体制への改装、リカバリー室の新設、スタッフ増員などの対応を行い、令和5年5月からは、これらの設備と人材を最大限に活用して、胃内視鏡検査の受診枠を拡大し受診者の要望に応える事が出来ました。

令和4年度までは、胃部検査のx線装置を2台（施設内/健診車）で稼働させ、午前ドック枠を55名としていました。しかし、令和5年度からは胃部健診車を使用しない事が決まり、施設内のx線装置を1台で稼働する事になりました。その為、午前ドック枠を抑える必要があり令和4年度の55名から令和5年度は50名に減少しました。このリカバリー対策として、午後ドック枠を増やす事で受診枠の確保を図りました。（R4年度8名→R5

年度 15 名)

また、ホームページ上で午後ドック枠の情報を提供することで、受診者増へと繋がりました。

3) 特定健診等代行入力事業【電算課】

会員 (77 施設)・他地区会員 (11 施設) より、請求事務処理代行 (検査含む) の委託を受けて実施しました。

4) 企業健診事業【健康企画課 営業係】

令和 5 年度は、企業巡回健診の料金見直しを行い、ほとんどの事業所にて健診料金の値上げを実施いたしました。

また、オプション検査の内容も変更。腫瘍マーカーや胃がんリスク検査等、血液検査で実施できる検査を充実させ、オプション検査の受診率向上を図りましたが、予算達成率は 93%に留まりました。今後は、マーケティングを含む営業戦略の見直しを図ってまいります。

令和 5 年度企業巡回健診予算	300,000,000円	
令和 5 年度企業巡回健診実績	279,954,000円	達成率 93%

5) 各種がん検診個別事業【健康企画課 検診係】

管内 9 市町村と他 8 市町村 (恩納村、金武町、宜野座村、東村、名護市、本部町、伊江村、今帰仁村) より委託を受け、乳がん検診 (マンモ検査、乳エコー)、子宮がん検診を実施医療機関 施設 (会員 施設、会員外 施設) の協力のもと行いました。

また、浦添市の子宮がん検診については、浦添市医師会より委託を受け行いました。乳がん検診 (マンモ検査) は、本会所有のマンモ検診車を会員施設に配置 (9 施設) して頂き受診者増に取り組みました。子宮がん検診は、液状化検体細胞診 (LBC 法) による精度の高い検診を実施しており、受診者増に努めております。また、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診については、令和 5 年度、沖縄市・うるま市・北谷町・北中城村・中城村・金武町・恩納村の 7 市町村で実施しており、実施医療機関 28 施設 (会員 23 施設、会員外 5 施設) の協力のもと継続的に受診率向上対策に取り組みました。

さらに、対策型胃がん検診の胃内視鏡検査において、6 月より、富士フィルム内視鏡検診システムを使用した WEB クラウド上での二重読影体制を市町村ならびに一次検診医療機関 13 施設、二次読影医師 6 名の先生方にご協力を得て構築いたしました。令和 6 年 1 月時点で 399 件の読影を実施しております。

6) 特定保健指導事業【健康推進課 保健指導係】

令和 5 年度は、第 4 期に向けて専門的な教育研修への参加と技術・質の向上を目指しながら効果的な保健師指導に取り組みました。その成果もあり、特定保健指導実施人数は前年度より増加となりました。

年度末には毎年契約保険者への特定保健指導の実績評価、独自の保健指導調査内容について報告しています。今回は朝食を摂らないことによる生活習慣病リスクについてデータの収集・評価分析をし、特定保健指導の介入やアプローチ方法に関する課題も見えてきました。

令和 6 年度より第 4 期へ突入し特定保健指導はアウトカム評価が導入され、より成果を重視した評価体系となっています。保健指導スキルが問われるようになり、今まで以上に対象者への効果的・効率的な保健指導が求められてきます。対象者の意識向上、実践に繋がり、満足度と健康増進への成果が出せる保健指導を目指し取り組んで参ります。

【実績】

特定保健指導実施人数 合計：2,079名（前年度 2,019名）

積極的支援：992名（前年度 950名）

動機付け支援：1,087名（前年度 1,016名）

健診当日に実施する未治療者に対する受診勧奨業務：142名（前年度 141名）

【その他】

中部地区地域産業保健センター健康相談実施人数 270名（前年度 275名）

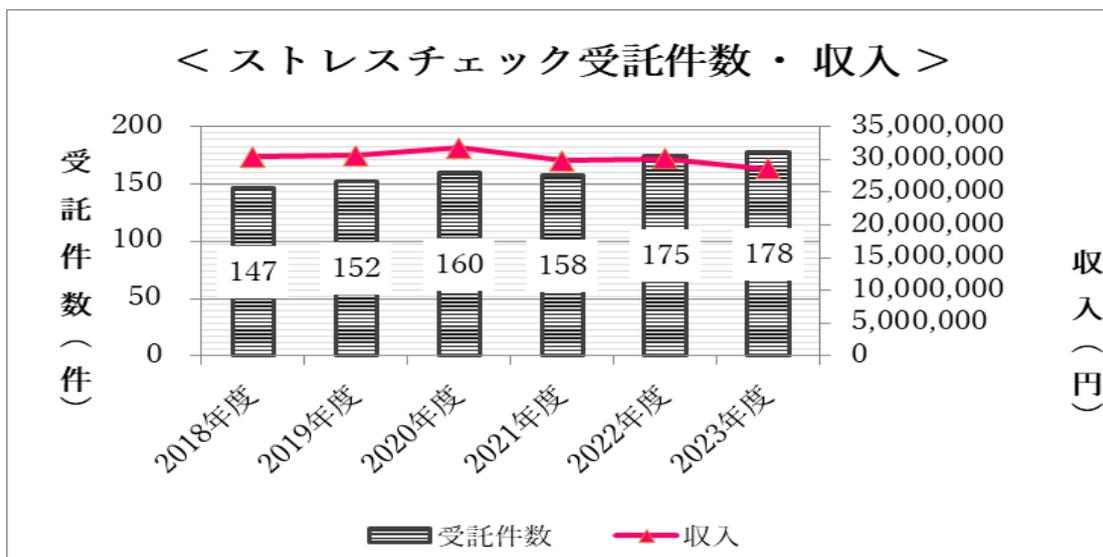
沖縄県立看護大学保健看護専門職養成実習（3名）：11/6～11/16

7) ストレスチェック事業【産業保健課 ストレスチェック係】

令和5年度では、ストレスチェックの受託事業場数が増加しました。しかし全体的に受検率が低下したこともあり、受検者の総数が減少し、収入実績は減少しています。受検率をいかに上げるかという課題が見えてきました。

一方で、ペーパーレス化のためWEB受検を推進した結果、結果処理における作業効率が改善されました。2024年度より全事業所をWEB受検にすることで、これまで実施から3週間を要した結果報告までの期間が2週間で報告することが可能となりました。多くの事業所から、納期までの期間短縮の要望が多く寄せられていましたが、今回その要望に対応できる結果となりました。今後も、契約事業所の満足度につながるサービスの提供に努めていきます。

【実績】





7. 地域保健推進事業について（その他事業4）

本事業は小児や児童生徒、高齢者の感染症予防のため、本会が実施主体となり会員施設での個別予防接種並びに婦人科個別検診、更に学校医配置業務について行うもので、実施にあたって各種情報提供、相談業務を行いました。

1) 予防接種事業（担当理事：石川 理事）（副担当：渡慶次 理事）

- ① 個別予防接種受諾施設の取り纏めを行い、市町村との委託契約を行いました。
- ② 個別予防接種県内相互乗入れについて、各地区医師会と調整を行いました。
- ③ 医療機関での個別予防接種が円滑に行えるよう実施マニュアルを作成しました。

2) 婦人科個別検診代行入力事業（担当理事：松嶋 副会長）（副担当：末永 副会長）

市町村と中部地区医師会とで委託契約を交わし、会員施設での検診が円滑にすすむよう実施要項を作成し各種情報提供等を行いました。

3) 学校医による学校定期健康診断医師配置及び事務代行事業

（担当理事：石川 理事）（副担当：古堅 理事）

学校医の負担軽減を図るため管内の教育委員会及び沖縄県教育庁、一部私立学校と学校健診について委託契約を行うと共に、健診協力医の配置を行いました。また、会員施設から帯同看護師の派遣依頼があり検診センターから看護師を派遣しました。

① 学校定期健康診断の委託契約

管内小学校・中学校・高等学校・養護学校など116校へ校医（113名）・健診協力医（58名）を配置し学校定期健康診断を各市町村教育委員会及び県教育庁等と委託契約を行いました。

② 学校健診帯同看護師の配置

中原小学校	5/12、5/15、
宜野湾小学校	5/26、5/31
浜川小学校	6/8
宮里小学校	5/30、6/5、6/12

中の町小学校	6/21、6/28
真志喜中学校	4/26、5/10
高江洲中学校	5/17
中部農林高校	4/27、5/11
具志川商業高校	4/24、5/8、

8. 医師会事業の健全運営、運営強化に向けての将来構想について

(担当 松嶋 副会長、今井 副会長、末永 副会長)

中部地区医師会では、昭和 63 年に中部地区医師会館を建設以来、検診センター・訪問看護・介護・居宅事業、看護学校、中部システムサポート、検診センター八重山出張所・中部スタッフサポート・看護小規模多機能型居宅介護と事業を拡大してまいりましたが、令和 5 年度は「各種医師会事業の将来を見据えた業務の効率化、社会状況に沿った体制を構築すべく、「中部地区医師会将来構想委員会」を設置し、下記の事について協議・改善を実施いたしました。

1) 医師会事業の業務の効率化に向けての見直し

各種医師会事業における効率化を目的に統括本部を設置し、これまで医師会事務局・医師会検診センター・医師会訪問看護ステーション・ぐしかわ看護専門学校と分かれていた会計部門を一つに統合し（統括本部経理課）、加えて会計システム・勤怠管理システム・社用車管理システム・決済管理システムの導入により、経理・総務に係る業務の効率化をおこないました。また、検診センター基幹システムの老朽化による、新システム（富士フイルムヘルゼア）の構築を 10 月より開始し、令和 6 年 4 月より運用しております。

2) 給与体系、退職金制度の見直し

医師会職員の定年退職に伴う新規採用が必要になって来ることから、医師会統括本部に人事課を設置し、時代に即した職員採用、退職給与規定の見直し、改定を進めました。

3) 新中部地区医師会館建設に向けての準備事業

昭和 63 年に建設された中部地区医師会館も令和 5 年度で築 35 年を経過し、事業拡大に伴う建物のキャパシティの問題、老朽化による建物の破損や空調、電気、水道等の設備に加え、内装物の取替等が発生しており、新たな医師会館（検診センター）の建設に向け、医師会施行部役員ならびに、医師会職員による「将来構想プロジェクト」により検討を進めております。

4) 中部システムサポート・スタッフサポートの事業縮小

医師会全体の組織再編に伴い、中部システムサポート・中部スタッフサポートにて実施していた事業を見直し、中部システムサポートで実施しておりました、ORCA 事業を他業者へ移管し、また中部スタッフサポートにおいて実施しておりました中部地区医師会管内での新規開業予定者に対する「新規開業支援及びクリニック継承支援事業」については、医師会統括本部・医師会事務局にて継続するよう調整をおこないました。